

住民主体のまちづくり

No.29 2016. 4

編集発行：車尾まちづくり推進会議 事務局

■ 車尾の歴史を学ぼう

去る3月22日(火)午後7時から、車尾公民館で地域振興部の事業として行いました。これは「庶民の歴史、身近な歴史」が地域にはあります。そうした歴史文化を掘り起こしていくまちづくりを進めていく中で、私たち一人ひとりがわがまの地域史を知り、まちへの愛着を育むことにつながるものです。まず「地域にいつごろから人が住み始めたのか」。講師は考古学資料をもとに観音寺の丘陵地で「3000年前の縄文人」であると示されました。弥生時代(紀元前4、5世紀から紀元3世紀前半)に入ると、日野川の流砂の堆積が進み、弓ヶ浜半島が出来ていく初期の部分が車尾になる。砂洲が発達し、海岸線は国道9号線ライン辺りまで後退しています。砂丘活動が停滞し草木が茂り安定した砂丘地の時代が続きました。古墳時代(3世紀半ばから7世紀半ば)では観音寺古墳群があり、鏡も出土している。奈良時代(710年から794年)には中央集権的な古代律令制国家が出現します。車尾も集落が出現して相見郡の半生郷と記載されている。また、最近の発掘で観音寺丘陵部の遺跡で馬具が発見され北九州とのつながりが分かってきました。鎌倉・室町時代(8世紀から12世紀)では、深田氏庭園(国指定名勝)の伝承、観音寺跡の庵の十一面観音坐像(県指定文化財)があります。以上、講演の概略です。

■ 今年度の計画

今年度は、昨年度の評価を踏まえ、効果的かつ円滑に実施できるものにしていきます。

【防災安全部】

- ①認知症徘徊模擬訓練。自治会規模で行う
- ②地域に点在する消火栓の管理
消火栓付近のスペースを常時確保する

【福祉部】

- ①詐欺に遭わないためのお話し会
高齢者の憩いの場として

②わがまち支え愛マップ推進事業

支え愛マップ作成で得られた情報をもとに、地域での生活に支援を必要とする人に対する平常時の見守り体制、災害時の避難支援の仕組みづくりに取り組む

【健康部】

- ①健康ウォーク。
- ②夏休みラジオ体操の普及
- ③健診・検診の受診率アップ作戦

【環境部】

- ①米川清掃

【子育て支援部】

- ①子育てカーニバル。
- ②東山中学校生徒会との懇談会。
- ③車尾地内パトロール

【地域振興部】

- ①地域の歴史を学ぶ。
- ②ふれあい祭り

■ 特殊詐欺被害を防止する地域モデル検証事業

2年目は新しく標題の事業を、鳥取県消費生活センターの支援により、福祉部が中核で地域が丸となった「特殊詐欺被害を防止するモデル地区」として、集中的な被害防止策を講じ、警察も連携した重層的な地域の見守り活動による特殊詐欺被害をゼロにするための方策を検証・発信していきます。

今後、高齢化がより一層進行することを考えると、高齢者の消費者被害に対応するためには、高齢者本人が消費生活センター等に相談することを待っているだけでは、必ずしも十分とはいえない。

高齢者の周りにいる人が、高齢者の消費生活上の安全に常に気を配り、もし何らかの異変を察知した場合には、消費生活センター等の機関に適切につないでいく、こうした『高齢者を地域で見守る体制』を構築することが極めて有効だといわれています。



自分たちのまちは自分たちで(つくる つなく つづける)